

令和7年11月14日

県土整備部道路課

奥入瀬を担う人財育成、専門知の集積・発信を目的に 令和7年度第3回奥入瀬アカデミーを開催します

奥入瀬アカデミーは、奥入瀬の魅力や価値等の発信、知的情報の蓄積、奥入瀬に関与する人材の育成を目的に、産学官連携で取り組む継続教育プログラムです。

令和7年度第3回は、奥入瀬溪流利活用検討委員会の委員である筑波大学教授の谷口綾子先生をお招きして講演いただきます。また、谷口先生の研究室の学生による研究紹介も併せて行います。本講演・研究紹介では以下のトピックについて解説・紹介いただく予定です。

- ・バイパス開通までの渋滞等の課題、モビリティマネジメントや協力金、新たに導入する交通等に対する知見や考え
- ・心理学を援用した観光地の地域愛着(観光客・地元住民・地元の事業者等)
- ・リサーチマッピングの定量的・定性的評価
- ・交通規制が導入後の奥入瀬の持つ可能性や魅力

全国の事例を交えつつ、奥入瀬の自然を深く知り、楽しく学べる貴重な機会ですので、多くの方にご参加いただきたく、周知、報道方よりしくお願いいたします。

記

1. 日時 令和7年11月19日(水) 10:00～12:30

2. 場所 十和田市地域交流センター とわふる

3. プログラム ・主催者挨拶

・講演 「移動が変わる、奥入瀬が変わる

～野外博物館構想でつなぐ、人と自然とモビリティ～」

筑波大学教授 谷口 綾子

報道機関用提供資料	
担当課 担当者	県土整備部道路課 整備推進G 能登谷 武範
電話番号	直通：017-734-9651 内線：6830
報道監	県土整備部理事 米田 均

About Oirase Academy

奥入瀬アカデミーがめざすもの

奥入瀬に学び、奥入瀬を楽しむ。

エコツーリズムの未来と、

奥入瀬を愛する人々の(輪)を広げる新たな試みです。

国立公園特別保護地区および国指定天然保護区域(天然記念物)である奥入瀬森林環境を国道が貫通しているという、他に例のない自然公園である奥入瀬を、多様な視点で解析し、その成果を広く共有していくことを主な目的としています。

今年度の奥入瀬アカデミーは、①アカデミー講座、②エコツアーガイド養成講座、③市民向け講座の3つの主で構成されます。それぞれの興味関心・趣味嗜好を刺激する、知的好奇心に満ちたラインナップで講座を展開していきます。

「奥入瀬のことを、もっと知りたい」と思う人であれば、どなたでも参加可能。このアカデミーの(学長)は奥入瀬そのものです。奥入瀬を学び、奥入瀬を楽しむ。見流すだけの観光地から、「観る」を味わう観光地への転換。それが「奥入瀬アカデミー」が目指す未来です。

◎奥入瀬アカデミー事務局

NPO法人奥入瀬自然観光資源研究会

【電話】0176-23-5866

【メール】info@oirase.org

主催:奥入瀬十和田利活用協議会

奥入瀬溪流エコツーリズムプロジェクト実行委員会
青森県

奥入瀬アカデミーの
詳細・最新情報は
こちらから
(奥入瀬フィールドミュージアム)



3 市民向け講座 奥入瀬溪流、その魅力と未来



現在、奥入瀬溪流エリアでは、青森山バイパス(奥入瀬溪流沿いの国道を迂回するトンネル工事)の整備が進められています。工事完成後は、マイカー交通規制が敷かれる予定であり、これまでの観光利用のスタイルが一変します。

奥入瀬溪流は将来なぞマイカー規制が行われ野外博物館を目指すのか。青森を代表する観光地・景勝地である奥入瀬溪流の動きを市民の皆さんと広く共有します。

開催日 2026年
1月18日(日)14:00~16:00

対象 十和田市民及び近隣市町村民

場所 十和田市民文化センター(第4研修室)

参加費 無料

定員 80名

申込方法 WEB申し込み

※エコツアーガイド養成講座スキルアップコース第7回と共同開催

こちらからお申し込みください。

◎講演内容 ※講演内容は変更になる可能性があります。

奥入瀬溪流の魅力とその観方(仮)

【第一部】
講演時間
45分



◎講師
NPO法人奥入瀬自然観光資源研究会
理事 川村祐一

1955年十和田市生まれ。2007年、十和田湖カヌーや奥入瀬ネイチャーツアーを催行するアクティビティ会社(株)ノースビレッジを設立。その後、2012年NPO法人設立に関わり、自身も奥入瀬溪流のエコツアーガイドとして活躍中。2019年から奥入瀬エコツアーガイド養成講座の講師・運営に携わる。全国のガイド養成講座等の講師も多く務める。



【第二部】
講演時間
45分



野外博物館構想 トンネル工事で変わる奥入瀬観光

◎講師
青森県県土整備部道路課



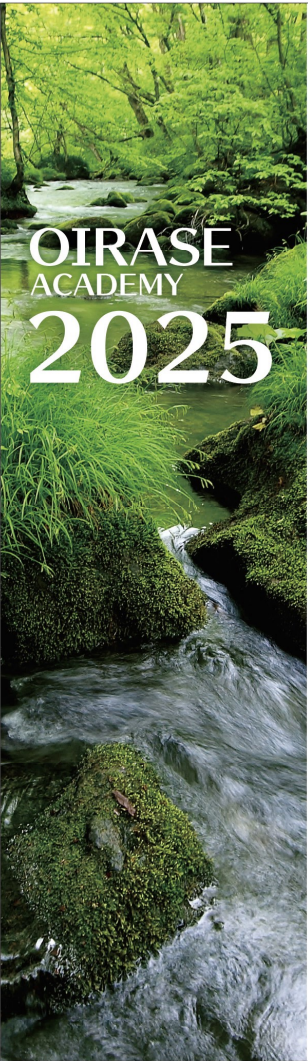
奥入瀬アカデミー 2025

OIRASE ACADEMY

- アカデミー講座
- エコツアーガイド養成講座
 - ★初級コース
 - ★スキルアップコース
- 市民向け講座

本リーフレットに記載の情報は、2025年5月31日現在のものです。
開催日時や内容に変更が生じる可能性があります。

奥入瀬アカデミーの
詳細・最新情報は
こちらから
(奥入瀬フィールドミュージアム)内
https://oirase-fm.com/academy/



1 専門講座 アカデミー講座

専門知見を有する識者を招き、多角的な視点から「奥入瀬の魅力と価値」についてご講演いただく講座です

- ▶対象 エコツアーガイド、ネイチャーガイド、奥入瀬や自然に関心のある一般の方、行政関係者、観光業関係者
- ▶参加費 無料
- ▶定員 各回90名
- ▶申込方法 WEB申し込み
※各回毎に、専用の予約フォームからお願いします。

◎開催スケジュール ※講座内容は変更になる可能性があります。

	第1回
日時	7/19(土) 10:30～12:30
会場	十和田市地域交流センター「とわふる」 (大ギヤラリー) 十和田市相生町16-1
テーマ	未来の奥入瀬、はじめよう ～奥入瀬ビジョンを実現性あるカタチに～
内容	●H30に作成した奥入瀬ビジョンへの想い、意図 ●SIP「スマートモビリティプラットフォームの構築」で目指す未来、奥入瀬との関係 ●今後、地域が潤うオールシーズン滞在型観光に必要なこと ●交通規制導入後の奥入瀬の持つ可能性や魅力 ●奥入瀬十和田利活用協議会に期待すること、議論すべきこと ●奥入瀬溪流利活用検討委員会の委員長として奥入瀬に期待すること
講師	 石田 東生 Haruo Ishida 筑波大学名誉教授・学長特別補佐 奥入瀬溪流利活用検討委員会 委員長 1951年大阪府生まれ。 1974年東京大学土木工学科卒業。1978年東京工業大学助手を経て、1982年に東京大学より工学博士を取得。筑波大学では社会工学科の教授、学頭、学長補佐などを歴任し、2017年に定年退職。2019年より(一財)国土技術研究センター・国土政策研究所長を務める。 専門は交通政策、国土政策、都市計画、社会活動として、内閣府SIP「スマートモビリティプラットフォームの構築」プログラムディレクター、デジタル庁モビリティワーキング有識者構成員、国土交通省社会資本整備審議会道路分科会長などの要職を担う。主な著書に「都市の未来(共著)」(日本経済新聞社)、「みちー創り・使い・暮らし」(技報堂)、他。
お申し込み	 ◀お申し込みはこちらから。



	第2回
日時	8/30(土) 10:00～12:00
会場	十和田市地域交流センター「とわふる」 (大ギヤラリー) 十和田市相生町16-1
テーマ	森と溪流のつながり ～生態系維持機構としての攪乱(かくらん)の重要性～
内容	●河川生態学とは ●森林と河川の相互作用について ●溪畔林、底生動物、魚類など流域に生育・生息する生物の生態的な相互作用 ●土砂崩れや河岸崖地の崩落、雨後の汚濁や増水といった攪乱が溪流生態系に及ぼす影響 ●水辺の生きものを観察することで ●ということが見えてくるか
講師	 中村 太士 Futoshi Nakamura 北海道大学名誉教授 北海道大学大学院農学研究員 1958年愛知県名古屋生まれ。 1983年北海道大学大学院農学研究科修士。農学博士。 中学校時代から北海道に憧れ、北海道大学に入学。 1990年から92年までアメリカ合衆国のオレゴン州立大学で生態系管理学を学ぶ。 森林と川のつながりなど、生態系間の相互作用を土地利用も含めて流域の視点から研究している。 2024年3月まで、北海道大学大学院環境資源学部において森林管理保全学教授。 2012年「みどりの学術賞」、2018年「業績褒章」などを受賞。 編著に「河川生態学」、共編著に「森林と災害」、他。
お申し込み	 ◀お申し込みはこちらから。

 谷口 綾子 Ayako Taniguchi 筑波大学 システム情報系社会工学科 教授 奥入瀬溪流利活用検討委員会 委員 札幌市出身。 北海道大学工学部土木工学科交通工学講座卒業。 大学院を経て建設コンサルタントに入社。(社)北海道開発技術センターに出身しつつ、土木技師として6年間勤務。社会人ドクターとして学ぶ中で、心理学を都市交通計画に応用するモビリティ・マネジメントの理論・実践に携わる。 2003年東京工業大学研究員、日本学術振興会特別研究員、2005年筑波大学講師、2013年同准教授などを経て現職。 専門は交通工学、都市交通計画、態度・行動変容、リスクコミュニケーションなど。 受賞：日本都市計画学会論文奨励賞(2002)、第34回交通図書賞(2009)、グッドデザイン賞(2020)、他。	◀お申し込みはこちらから。
--	---------------

2 エコツアーガイド養成講座 初級コース

奥入瀬溪流のゴールデンコースと言われる(石ヶ戸～雲井の滝)をガイドできるようになることを目標に、自然の知識やガイドスキルを学ぶ講座です。

- ▶対象 ●将来エコツアーガイドとして活躍してみたい方
●奥入瀬の自然を深く学びたい方
- ▶参加費 受講料は無料
※フィールド研修時は、傷害保険として500円/回を徴収します。
- ▶定員 約25名
(定員になり次第締め切ります)
- ▶開催場所 奥入瀬溪流 / 奥入瀬溪流館
- ▶申込方法 WEB申し込み
 ◀こちらからお申し込みください。
- ▶申込条件 全7回開催のうち、5回以上参加の方に修了証を授与
- ▶講師 NPO法人奥入瀬自然観光資源研究会
理事 川村祐一 他
FORESTON所属 ガイド(サポート)

◎開催スケジュール ※講座内容は変更になる可能性があります。

		ガイダンス	概要説明
第1回	7/12(土) 9:00～16:00	基礎講座Ⅰ	●エコツアーガイドの役割 ●奥入瀬溪流の地形的成り立ち
		基礎講座Ⅱ	●奥入瀬溪流の魅力と価値とは ●奥入瀬外帯(フィールドミュージアム)の歴史とは ●フィールドミュージアムにおけるネイチャーガイドとは何か
第2回	7/26(土) 9:00～16:00	ツアー体験	エコツアー参加・体験(石ヶ戸～雲井の滝)
		基礎講座Ⅲ	これだけは知っておきたい植物 [基本の樹木 / シダ / コケ]
第3回	8/9(土) 9:00～16:00	ガイド演習	映像を用いたシミュレーション 実地ガイド実習
第4回	8/23(土) 9:00～16:00	ガイド演習	映像を用いたシミュレーション 実地ガイド実習
第5回	9/6(土) 9:00～16:00	ガイド演習	映像を用いたシミュレーション 実地ガイド実習
第6回	10/4(土) 9:00～16:00	ガイド演習	映像を用いたシミュレーション 実地ガイド実習
特別特	10/27(月) ～11/2(日) 8:00～16:00	ツアー実践	マイカー交通規制期間中のイベントに合わせたツアー実践 ※希望者は、いずれか1日に参加可能
第7回	11/15(土) 9:00～12:00	振り返り	振り返り研修、認定授与

2 エコツアーガイド養成講座 スキルアップコース

ガイドスキルや知識の更なる習得をめざした講座です。テーマごとに専門講師をお招きします。

- ▶対象 過年度のガイド養成講座修了生、奥入瀬で活動しているネイチャーガイド
- ▶参加費 受講料は無料
※フィールド研修時は、傷害保険として500円/回を徴収します。
- ▶申込方法 WEB申し込み
※開催回ごとに募集
 ◀こちらからお申し込みください。

◎開催スケジュール ※講座内容は変更になる可能性があります。

	日時	開催場所	テーマ	講座内容	講師
第1回	6/12(木) ① 9:00～12:00 ② 13:00～16:00	・奥入瀬溪流館 ・奥入瀬溪流	ガイディング手法 (実践編)	植物進化の話を取入れたガイディング手法を学ぶ ※希望者は①～②のいずれかからお申し込みください	株式会社 FORESTON エコツアーガイド 川村祐一
第2回	6/14(土) ① 9:00～12:00 ② 13:00～16:00	・奥入瀬溪流			
第3回	7/14(月) 10:30～12:00	奥入瀬溪流館	防災気象情報の利活用	防災気象情報から奥入瀬溪流の天候を予測する	青森地方気象台
第4回	9/27(土) 9:30～16:00	・奥入瀬溪流館 ・奥入瀬溪流	シダの魅力の語り方	シダ植物を分類だけではない視点で観る	元国立科学博物館 研究員 植物分類学 中池敏之
第5回	10/6(月) 9:00～12:00	奥入瀬溪流館	十和田八幡平国立公園で 注目すべきチョウ類	著書「アゲハチョウの仲間」他	日本蘭学会 東北地区自然保護委員長 工藤 忠
第6回	12/6(土) 14:00～16:00	とわふる 大ギヤラリー	エコツーリズムの 視点で語る大町桂月	これまで学んだ「大町桂月」を エコツーリズムの視点から観ている	NPO法人奥入瀬自然観光 資源研究会 理事 河井大輔
第7回	2026年 1/18(日) 14:00～16:00	十和田 市民文化センター 第4研修室	奥入瀬溪流、 その魅力と未来	奥入瀬溪流は将来なぜマイカー規制が 行われ、野外博物館を目指すのか ※市民向け講座と共同開催	・青森県県土整備部道路課 NPO法人奥入瀬自然観光資源研究会 ・理事 川村祐一